

教科	科目	対象学科	単位数	教科書	使用教材
地歴公民	日本史 A	3 年福祉科	2 単位	高等学校改訂版日本史 A 人・くらし・未来 (第一学習社)	プロムナード 日本史 (浜島書店)

到達目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
------	--

	A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 資料活用の技能	D 知識・理解
評価の観点	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求し、国際社会に主体的に生き国・社会を形成する日本国民としての責任を果す。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身につけている。

学習の評価	(評価の観点) 1 関心・意欲・態度・・・授業態度、提出物 2 思考・判断・表現・・・定期考査 3 技能・・・プリント 4 知識・理解・・・定期考査 (評価の方法) 出席状況、定期考査 出席状況、定期考査、提出物の内容と提出状況、授業態度等を総合的に評価する。
-------	--

単元	学習内容	到達目標
第1章 近代国家 の形成と 国際関係 の推移	第1節 近代への胎動 第2節 開国と幕末の動乱 第3節 近代国家の形成 第4節 国際関係の推移と近代産業の発展	・江戸時代の鎖国下での日本の対外関係について理解する。 ・近世後半の産業、教育や学問・思想などの発展について理解し、さらに、これらが近代文化の基盤となったことを理解する。 ・明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定国会開設に至る動きを理解する。 ・初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正、一方、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。また、日本の領土が国際的に確定したことも理解する。 ・条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢の推移が密接に

		関係し，進められたことを理解する。
		・日清・日露戦争のおこった原因と，その結果について理解する。 ・明治後半から大正期の国内政治については，政党政治の成立と，その背景にあったデモクラシーの風潮の高まりについて理解する。
第 2 章 両大戦を めぐる国 際情勢	第 1 節 第一次世界大戦と日本	・第一次世界大戦が，日本に与えた経済的な影響について理解する。 ・大正期には，第一次世界大戦を通して世界的な民主主義の風潮が高まり，さらに資本主義の発展にともなう産業構造の変化を背景として，さまざまな社会運動が活発になったことを理解する。
	第 2 節 第二次世界大戦と日本	・第二次世界大戦に至るまでの社会状況や諸外国との外交などを総合的に理解する。 ・第二次世界大戦中の国内の様子も理解する。
第 3 章 現代の日 本と世界	第 1 節 日本の再出発	・第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策，民主化の諸改革の内容について理解する。 ・日本国憲法について，その制定までの過程や内容の特徴を理解する。
	第 2 節 独立後の政治と経済の発展	・高度経済成長の実態と，その歴史的意義について理解する。 ・高度経済成長期において，科学技術の発達，産業構造の変化，消費の拡大など，これを機におきた変化の内容について理解する。
	第 3 節 現代の世界と日本	・国際的な冷戦の終結後の世界情勢と，国内的な 55 年体制の崩壊について，理解する。 ・現在の日本が抱える諸課題について，国際社会での役割，国内的な問題から理解する。